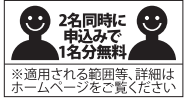




～EVブームの終焉とこれからのモビリティで鍵を握るコネクティビティ～  
 ～次世代自動車技術の周辺動向、各企業が取るべき対応とは！～

# 次世代モビリティの将来予測とMaaSに向けてとるべき対応

～これからの自動車ビジネスへの展望／アプローチ～



日時	2019年9月6日(金) 10:30～16:30	会場	東京・大田区平和島 東京流通センター 2F 第4会議室
受講料	48,600円 ⇒S&T会員 46,170円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価: 本体45,000円+税3,600円 会員: 本体42,750円+税3,420円)		資料・昼食付

講師 愛知工業大学 工学部 客員教授。博士(工学) 藤村 俊夫 氏【元・ヨタ自動車(株)】

**趣旨** 本セミナーでは、SDGsでもあがっているように、CO2低減は待ったなしの緊急課題である。自動車メーカは有るべき規制値を想定し、現実解であるHVを主軸とした次世代車展開を今後急速に進め、ブームも終焉を迎えつつあるEVに関しては、LSEV(Low Speed EV)という従来にない超小型カテゴリで活路を見出すことが重要であることを説明する。  
 次に、MaaSに繋がる新たな開発要素であるCASE(コネクティッド、自動運転、シェアリング、電動化)に関して、コネクティッドが非常に重要な役割を果たすこと、自動運転に関しては安全安心を確保するために、自律制御と交通インフラとの協調制御、道路環境整備が必要であることを解説する。最後に、現在検討が進むMaaSは、今後スマートシティー構想につながっていくが、その中でどのような形で異業種まで含めたアライアンスを組み、日本企業が米国、中国連合にに立ち向かっていくべきか解説していく。

<b>プログラム</b>	<b>1. CO2低減は待ったなしの緊急課題</b> 1.1 世界のCO2排出と気候変動への影響 1.2 国・地域別CO2排出量とセクター別CO2排出量 1.3 世界のCO2排出量トレンドと今後の削減シナリオ 1.4 各国のパリ協定でのCO2自主削減目標 1.5 世界の1次エネルギー消費とCO2排出への影響および今後の削減シナリオ 1.6 電力・自動車セクターにおけるエネルギー多様化の動向 …他	<b>3. Society5 (政府推進) につながるMaaS実現のためにCASEの果たすべき役割</b> 3.1 モビリティのSociety5にむけたデジタル革命 3.2 CASE、MaaSそれぞれの関連とスマートシティーへの繋がり 3.3 コネクティッドカーから取得する情報とエンドユーザーへの提供 3.4 自動運転における、エッジコンピューティング(+5G)とクラウドコンピューティングによる情報処理の分散 3.5 ブロックチェーンと情報銀行による自動車間の情報共有とコネクティッドカー情報の売買 3.6 レイヤーで整理した自動車とCASEの関係 …他
	<b>2. 将来の次世代車の主軸とパリ協定CO2自主目標を達成するための各国・地域のあるべき規制値</b> 2.1 世界の最新販売台数と地域・国別の販売台数予測 2.2 2050年のCO2排出量予測とパリ協定自主目標を達成するためのあるべき規制強化案 2.3 技術完成度からみた次世代車導入優先順位(HV、PHV、EV、FCV) 2.4 自動車の先進技術の俯瞰と改良技術 2.5 世界の自動車のセールスマックス(～2050年)と投入すべき技術 2.6 パリ協定CO2自主目標達成の可能性 2.7 世界最大市場の中国の自動車動向 …他	<b>4. MaaS突入に向けた企業連携とその先に繋がるスマートシティー構想</b> 4.1 企業連携の狙いと形態 4.2 MaaSを全方位で進めるために必要な技術連携のあるべき姿 4.3 トータルシステムを構築するための提携戦略(Toyota) 4.4 中国政府主導型の提携戦略に日本連合で対抗 4.5 スマートシティーコンセプトとは …他

まとめ

□質疑応答・名刺交換□

■2名同時申込みで1名分無料■  
 (1名あたり定価半額の24,300円)

※2名様ともS&T会員登録をいただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。  
 ※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。  
 ※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。  
 ※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。  
 ※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。 ※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 A190906 (次世代モビリティ)

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。  
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<b>今後のご案内</b>	
<input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み <input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み <input type="checkbox"/> 希望しない	S&T会員価格を適用いたします。 (E-mailアドレス必須)
<b>お支払方法</b>	
<input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日) <input type="checkbox"/> 当日現金払い	
<b>通信欄</b>	

●受講料について  
 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。  
 ●お申込みについて  
 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。  
 また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。  
 お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。  
 ●お支払いについて  
 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。  
 銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。  
 振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて  
 ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。  
 詳しくはホームページをご覧ください。  
 ●キャンセル規定  
 開催日から逆算(営業日: 土日・祝祭日等を除く)いたしまして、  
 ・開催7日前以前のキャンセル: キャンセル料はいただきません。  
 ・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%  
 ・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%  
 ※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

**サイエンス & テクノロジー**  
 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍  
 サイエンス&テクノロジー株式会社  
 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187  
 〒105-0013  
 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F  
<http://www.science-t.com>